

ウーマン・イン・スポーツ

各紙掲載記事より

94年1月～4月

●1/18 (産経) 初の女性主将に橋本 日本オリンピック委員会(JOC)はリレハンメル五輪選手団の主将にスピードスケートの橋本聖子(29)の起用を決定。女性主将は夏・冬の五輪を通して初めて。

●1/31 (読売) 女性騎手三百勝 国内最多勝の女性ジョッキー、吉岡牧子さん(29)が30日、大分県・中津競馬で通算三百勝の大記録を達成した。OJから西日本初の女性騎手に転身して8年目の快挙である。

●2/10 (産経) 史上初の女性プロ野球チーム始動 「コロラド・シルバードブルツ(銀の弾丸)」という女性野球チームが昨年12月マイナーリーグを統括しているNAPBLからプロ野球チームとして認可され、95年から1Aに参戦する。プレーヤーを厳しく審査しており、5月以降、約30試合のオープン戦が予定されている。

●2/14 (読売夕刊) Jリーグのレフェリー目指す、5人しかいない女子のサッカー二級審判員の一人、吉沢久恵さん 東京都サッカー協会審判委員会事務の手伝いをしている吉沢久恵さん(27)は、実践女子大学時代から

サッカーをやっていた。しかし、審判の方が選手より長くサッカーが続けられるとこの道を目指し、昨年はアジア女子選手権大会のレフェリーを務めた。男女一緒なので体力的には大変だが、現在、まだ女性のいない一級審判員を目指しているところである。

●2/15 (産経) イスラム女性もスポーツを イランのラフサンジャニ大統領は「女性がスポーツをすることは信仰上の墜落ではない。当局はもっと女性が参加できるように促進すべきだ」と、女性スポーツ人口の拡大を指示した。イスラム教では女性の顔と手以外は「恥部」とされ、人前でさらすことを禁じている。このため、ジョギングするときも女性は頭から足まで全身黒ずくめの姿となるなど多くの制限を受ける。大統領の娘のファエザ・ラフサンジャニ・イラン五輪委員会副委員長は昨年12月、イラン女性は外国では乗馬、スキー、射撃などの競技にしか参加できないと指摘していた。

●2/17 (報知) AP) 米大学野球史上初女性投手勝った サザンカリフォルニアカレッジ1年生のイラ・ボールドーズ投手(18)は、女性としてはNCAA(全米大学スポーツ協会)史上初の完投勝利を挙げた。178cm、73kgの左腕投手のボールドーズは8回にソロホームランによる1点を許しただけで104球を投げきった。目標は「メジャーリーグ(大リーグ)よ」と言い切った。

●2/19 (読売夕刊) 乳がん 登山で小康 乳がんを患った女性12人が主体の登山隊が来月1月、南米最高峰のアコンカグア(7036m)を目指す。進行性の乳がんがんで死線をさまよったスポーツウエアー・デザイナートのローラ・エバンスさん(45)が「変化」を求めて挑戦した登山の体験を踏まえて呼びかけたもの。5年前にがん宣告を受けた彼女は登山を再開して、病状は小康状態を保っている。環境とがん治療の関係についての関心も高まってきた。

●3/6 (日経) 女性の敵 骨粗しょう症 国・自治体が予防策 高齢者だけでなく、過度のダイエットの影響で若い女性層への広がりも危惧されて

いる骨粗しょう症の予防対策に、各地の自治体が続々と乗り出している。また厚生省も来年度から全国の女性二十万人余の骨密度測定で予備軍の発見と早期予防を目指す計画で、ようやく重い腰を上げる。

●4/8 (報知) 女性に開放 東京六大学野球 東京六大学野球連盟は7日の定例理事会で、女子学生が野球部員として選手登録を希望した場合、これを拒否する条項はないとして、女子野球部員が神宮球場でプレーすることを認める画期的な結論を出した。しかし現実にはマネージャーを部員登録させる程度で、女子選手が登壇するまでにはまだ時間がかかりそうだ。

●4/18 (日刊スポーツ) 共同) ロッテルダムマラソン 朝比奈日本最高 朝比奈三代子(24)旭化成)が、従来の記録を17秒縮める2時間25分52秒の日本最高記録を樹立し、初の海外レースでフルマラソン初優勝を飾った。

●4/25 (朝日) 共同) パリ・マラソン 谷川、大会新で初V 谷川真理(良品計画)は日本歴代9位に当たる2時間27分55秒の大会新記録で初優勝した。

